

トーク」誕生秘話…

痛快七転び八起き半生



バイヤー時代の見た目
は真面目そうなサラリーマン



テレビ通販界のカリスマ、オネエ言葉が印象的なベガス味岡さん。まるでショーのように楽しくて、気がつけば電話に手が伸びている、あの絶妙トークが生まれた秘密を、ベガスさんにこっそり聞いてきたよ！

「私ね、6歳のときにフィンガー5のコンサートを見て、その華やかさと会場のパワーに圧倒されて。以来、いつかステージに立ちたい。そう思うようになったの」
瞳をキラキラさせて熱弁するのは、テレビ通販でおなじみ、ベガス味岡さん（41）。イケメンな外見とは裏腹の軽妙なオネエトークに、ものまねや手品、手作りの手裏剣フリップを取り入れた商品説明はまさにショータイム。一瞬にして見る者をくぎ付けにする、カリスマ通販マンだ。

「その後、アイドルに憧れて、「スター誕生！」やらホリプロスカウトキャラバンやら、ありとあらゆるオーディションを受けたんだけど、ことごとく惨敗。それでも諦めきれずに、スターが無理ならアナウンサーだと、テレビ局を受けても落ちこつて。なぜだか、ディノスに入社したのよ」
入社後は、テレビ部に配属され、テレビ通販のバイヤーを担当した。売れそうだと思う商品を、足を使って探し出す。テレビにかかわる仕事とはいえ、完全なる裏方だ。しかし、ベガスさんは、そこで計り知れないお金が動いているのを目の当たりにする。

「当時はバブル全盛期だったから、何をやっても売れたわけ。すごかったのよ。だって、6千万円のロールスロイスがテレビでポンって売れちゃうんだから。2時間の番組で売り上げは4億円。普通じゃないなかった」
1度目のチャンスは、入社1年を過ぎたころに訪れた。担当した番組「出たMONO勝負！」（フジテレビ系）で、ベガスさんが見つつけてきた商品

が紹介されることになったのだ。大学時代からパチンコにハマっていた彼が「コレだ！」と思っただけは、その名も「パチンコクロック」。パチンコ型の目覚まし時計だった。

「どうせなら、派手にしっちゃおうと思っただけ、スタジオ中はその時計を並べたわけ。司会の愛川欽也さんと八木亜希子さんの周りで、商品がピカピカ光っては、目覚ましが鳴り響くのよ」

そのきらびやかさと同じ勢いでコールセンターには1万件的注文が入り、電話回線がバンク状態に。たった5分の放映で、なんと1億円を売り上げたのだ。まさにビギナーズラックだった。

ベガスさんがほかの営業マンたちと違ったのは、ママたちも儲かるように考えたこと。男性客向けの滋養強壮ドリンクを卸して、トイレにインパクト絶大のポスターを貼り、みんなが儲かる仕組みを作っていたのだ。

その後、その手腕を買われ、エステ会社に就職。商売のノウハウを叩き込まれて3年ほど経ったある日、ディノスを訪ねると、先輩から驚くべき声を掛けられた。

「お前、なんかいい感じになってきたな。自分でテレビに出ちゃえば？」

忘れかけていたようで、どこか心残りだったテレビ業界。ベガスさんの心が動いた。意を決して、営業マンから通販

ベガスさんセレクトのアルバム
付きCD (¥9,240)

スナックで磨いた 営業力。そして、 いよいよテレビに

「うわ、もしも自分でやってたら、どれだけ儲かるんだらうって思ったの。でも、さすがに20代前半じゃ、愛川さんほどの話術はないし、説得力もないでしょ。物を売るには必ず秘訣があるはず。ちゃんと勉強しようと思っただけ」

その後も、家電商品を中心に1億円を売り続けたベガスさんだったが、あくまで担当はバイヤーとして。何も変わらない毎日に関々とし、新しいことをしたいと思いはじめた

ころ、父親が寿司店を開業することになり、表舞台に立つことなく、退職した。

「でもね、寿司屋の店長も、やっぱり同じ毎日で飽きちゃうのよ。で、毎晩飲みに行っていたスナックで、ママたちが美容の話に興じているのを見て、閃いたの。美顔器を安く仕入れて売ろうって」

寿司店が閉店した23時から、スキー用のキャスターバッグに1つ10万円の美顔器を詰め込んで、飛び込みで夜の街を営業。その人柄と話術で、地元の千葉周辺をはじめ、新宿、歌舞伎町などで美顔器が飛ぶように売れていった。

ベガスさんがほかの営業マンたちと違ったのは、ママたちも儲かるように考えたこと。男性客向けの滋養強壮ドリンクを卸して、トイレにインパクト絶大のポスターを貼り、みんなが儲かる仕組みを作っていたのだ。

3千万円の借金、歌舞伎町で飛び込み営業、「オネエ」
「5分で1億円を売る男」が語る

ベガス味岡⁴¹

「幸せの売り方」 「教えます！」

マンへと転身。上代3千万円分の美白パックを仕入れたのだ。借金までして。

「ところが、初めて出たテレビ番組は惨憺たるもの。恐怖心バリバリで、どのカメラに向かってもいいのかわからない私は、ずっと下を向いて話して。売れたのはたったの3個。5分で1億円なんて自分だけの力じゃ無理なんだって愕然としたの」

6畳の自宅は段ボール250箱

の在庫の山で3分の2が埋め尽くされた。得意だった営業回りをしても売れず。途方に暮れ、外にも出たくない、誰にも会いたくないというほどのうつ状態に陥った。

「廃棄処分するお金もなくて、もう東京湾に捨てちゃおうかと思っただけ。でも、初出演から半年が過ぎたところ、突如、テレビ番組の出演が決まったの。とはいえ、テレビ出演がトラウマと化している私



復活を遂げた30代。声や身ぶりも熱心に研究(上) 磨きがかかり、自信に満ち溢れた表情に変化(左)

は、怖くてたまらないわけ。そこで、放映の前日、行きつけのオカマバーに飲みにいって、ママに相談したのよ」

とびきりの明るさとテンションが持ち前のママは、不安顔のベガスさんにこう言った。

「真面目に話したって面白くもなんともないわよ。人生一度くらいはパーツとやらなきや。ノリと動きよ！」

テレビに出るのはこれが最後と聞き直ったベガスさん。18時の本番直前にビールやパーボンをあおり、商品の白いパックを顔に塗って、カメラの前に立った。

「気分は最高潮よ。ママのものを指し、「そのアナタ！キレイになりたいでしょ？」って。とにかくしゃべりまくったら、コールセンターがパンク状態になっちゃって。2回の出演で段ボール250箱が全部なくなったの」

突然のオカマキャラに、クレームや局内からの反論もあったが、見事、その年の売り上げナンバーワンに輝いた。

34歳のことだった。

以来、ベガスさんが厳選したものは売れると業界内外で評判になり、カリスマ通販マンと呼ばれるようになった。

彼がプロデュースした商品のなかには、100万個10億円も売れたものもある。現在は、自身が司会を担当する冠番組も持ち、数々のバラエティ番組にも出演している。

「紆余曲折あって、今思うのは、夢は自分が諦めなければ、いつか叶うってこと。だって、通販マンの私はテレビに出演するだけでなく、CDだって出しちゃったんだから」

ちなみに、ベガス味岡セレクトの4枚組CDボックスに、2年前に結成したバンド「ベガスターズ」のアルバムおまけ付きというものが。

「ベガスという名前に込めたのは、大好きなラスベガスのような華やかなエンタテインメントを届けたいという思い。買い物で楽しい気持ちも一緒に手に入れてほしいの。幸せも届けられる、世界の通販マンになるのが目標よ！」

そう話す彼の部屋の大きなテレビには、研究のために通販番組が流れていた。

オススメの美容アイテム!

超高速振動技術で化粧水をナノ微粒子化。浸透力が格段にアップ、みずみずしい肌へと導いてくれる美容器。「Rich MIST」(¥19,950)

カサカサや縦シワがなくなり、セクシーな唇へと導く「ハリウッドリップス」はリップ・バームやスクラブなど全6種。(¥1,890~2,100)

軽く転がすだけで歯周病改善や口臭予防。ホワイトニングにも効果絶大のローラータイプの歯ブラシ「コロコロブラシ」(¥3,150)

たった10秒でピカピカの爪に。ネイルポリッシャー「クリスタルネイル」(¥1,050) スタートレーディングジャパン ☎03-5385-3331



ベガスさんオススメの爪磨き「クリスタルネイル」を読む者20名にプレゼント! 応募はハガキに応募券を貼り、〒住所・氏名・☎を明記のうえ、〒112-8011 東京都文京区音羽1-16-6 光文社 女性自身編集部「ベガスさんプレゼント係」まで。締切りは10月31日消印有効。当選者の発表は本誌2377号で発表します。

2377号
ベガス味岡さん
オススメの
クリスタル
ネイル
プレゼント応募券

※雑誌公正競争規約の定めにより、この懸賞に当選された方はこの号のほかの懸賞に入選できない場合があります。応募されたハガキは抽選および賞品の発送にのみ使用し、そのほかの目的には使用いたしません。